

インフォシスと全仏オープン、デジタル革新で大会の歴史を蘇らせ、 新たな STEM イニシアチブで若者を育成

パリ (フランス) – 2022 年 5 月 30 日: 次世代のデジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーである [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) は本日、フランス・テニス連盟 (FFT) と共に、テクノロジーを駆使したスポーツ観戦やファンの交流を実現する、新時代の最新イノベーションを発表しました。インフォシスと FFT の提携は 3D や AR、VR、AI を駆使した体験にまで及び、今後 5 年の提携延長に弾みをつけた形です。今回の提携ではコート外でも新たな STEM¹ イニシアチブを実施します。このイニシアチブは若者を対象に、テニスを起点に科学やテクノロジーがスポーツにどう影響を与えるのかを学んだり、インスピレーションを得たりする機会を提供します。

この最新イノベーションは、テクノロジーを駆使することで、観衆をつなぎ、刺激を与えて没入できる仕組みになっています。そうすることで、観戦者による大会の歴史探訪や試合観戦がより豊かな体験となります。こうした技術には以下のようなものがあります。

- **「チャンピオンの壁」と「3D ラケット展示」による歴史探訪** – 2021 年の前回大会で好評を博した **3D アートミュージアム**に続き、今回もテニスファンが楽しめる新たな 3D 没入型展示を行います。3D 体験は双方向型となっており、大会の歴史を経て進化してきたラケットの変遷に関する展示を行うほか、過去数十年を象徴する男女の優勝者も特集します。
- **試合の流れに沿った統計データと Patterns of Play (プレーパターン) による全く新しい試合観戦** – Infosys Stats Flash (インフォシス統計速報) により、大会を通じて生中継の試合の様子にリアルタイムのデータを載せて、新記録やパフォーマンスをトラッキングします。また、Infosys Match Centre (インフォシス・マッチ・センター) では、Patterns of Play (プレーパターン) と呼ばれる新たな双方向型の視覚化機能を用いて選手の動向や勝利戦術を深堀りします。これらの機能を組み合わせることで、データ主導型の新しい放送体験を味わうことが可能です。
- **AR および VR 機能で観戦体験の限界に挑戦** – ファンは、携帯電話やタブレット機器のカメラを平面に向けると、拡張現実 (AR) でテニスコートを見ることができます。AR ではショットや統計データ、ポジショニング、ボールの軌跡が得点ごとにインタラクティブに表示されます。ファンはまた、誰もが愛する全仏オープンのセンターコート (コート・フィリップ・シャトリエ) でバーチャルテニスをプレーしたり、メタバースでソーシャル VR を介して他のテニスファンと交流したりすることが可能です。

¹ STEM: 科学、テクノロジー、エンジニアリング、数学

前年の進化を受け継ぎ、AI は引き続き、ウェブやモバイルアプリのプラットフォームで AI 動画やインサイトを提供する Infosys Tennis Platform を通じて、選手やコーチ、放送局、ジャーナリストをつなぐ重要な役割を果たしています。

この提携で両社は、技術を駆使してテニスのエコシステムに恩恵をもたらすことにコミットしており、これを若者向けの STEM イニシアチブにも拡大して、実施しています。この共同イニシアチブでは、無料のオンライン学習プラットフォームである Infosys Springboard を活用し、テニスに科学やテクノロジー、エンジニアリング、数学がどのように活用されているのかを示すことで、若者をパリからこれらの学問分野へといざないます。学習者には、ローランギャロスでテニスのレジェンドとやり取りをしたり、コート内外でデジタル技術が担うエキサイティングな役割を学ぶことができる 1 日体験の機会も与えられます。

全仏オープンテニスの大会ディレクターである Amélie Mauresmo 氏は次のように述べています。「インフォシスの新たな 5 年提携が始まり、全仏大会をより多くの観衆により大きなインパクトで届け、新たな方法で人々の人生に関わることができると思うと、胸が高鳴ります。今年再び達成した内容が、デジタル革新パートナーであるインフォシスとの関係の深さを物語っています。今後も全仏大会は世界中での他のスポーツ大会のモデルであり続けるでしょう。」

インフォシスの最高マーケティング責任者である Sumit Virmani は次のように述べています。「当社は今年、目的意識をもって大会に臨み、本物の没入感覚をもたらす、コミュニティーに衝撃を与えるサポートしたいと考えていました。AR、VR、3D 技術やメタバースによるデジタル体験を通して、ファンや学生、コーチ、選手をより体験を通して繋ぐことで、エコシステム全体の関係を深め、行動に近づけました。デジタルを社会のためのポジティブなプラットフォームとして活用した当社の STEM² プログラムが始動したことから、この提携がテニスコートを飛び出して、さらに広い世界で社会的な影響を与えることを目指していることがお分かりいただけると思います。」

全仏オープンテニス大会は 2022 年 5 月 22 日から 6 月 5 日まで開催されます。最新のデジタル革新は Roland-Garros.com で体験することが可能です。この提携に関する詳細は Infosys.com/Roland-Garros をご覧ください。

全仏オープンについて

スポーツファンの視点から見ても、一般の人々から見ても、全仏オープンテニスは見逃せないイベントです。2021 年の大会は世界 222 カ国で放送され、この大会が一流の国際スポーツイベントであることが証明されました。フランス・テニス連盟が運営する全仏オープンは、テニス史上最も古く、最も高潔なコートの 1 つであるクレイで開催される唯一のグランドスラム大会です。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 カ国でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお

お客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先:

日本支店 マーケティング本部長 安藤 : jo_ando@infosys.com